

ビブルナムオプラス「スノーボール」の切り枝促成技術

【1 成果概要】

- (1) 5℃以下の低温に積算で1600時間以上遭遇した枝を最低15℃、最高25℃の条件で促成すると、約1ヶ月で出荷適期になります。
- (2) 促成には、長さ100～130cm、太さ1.0cm前後の枝を利用します。
- (3) 促成時には、枝物用前処理剤を切り枝専用の水揚げ溶液として使用して下さい。

表 促成切り枝生産における水揚げ溶液、切り枝長の影響 (平成18年度)

水揚げ溶液の種類	切り枝長 (cm)	開花日 (月日)	到花日数 (日)	正常開花数 (輪)	最大花径 ¹⁾ (mm)	開花率 ³⁾ (%)
水揚げ溶液 A	70	3月3日	31.0	2.3	44.7	60.5
	100	3月3日	31.0	3.7	50.1	72.5
	130	3月3日	31.2	4.8	58.4	80.2
水揚げ溶液 B	130	3月4日	32.2	3.6	53.7	69.2
	水道水	100	3月4日	32.3	0.0	計測不能 ²⁾
水道水	130	3月3日	31.6	0.0	計測不能 ²⁾	68.2

1) 開花日における最大花径 = (縦径 + 横径) / 2

2) しおれの発生により計測不能

3) 開花日到達後6日目における総開花数に対する正常開花数の割合

試験概要 促成開始日：平成19年2月1日 (5℃以下低温遭遇時間1,622時間) に露地栽培株の切り枝を採集して開始

1区5本2反復、切り枝径：0.9～1.0cm 水揚げ溶液A：ハイワ-ラ BRC50倍 水揚げ溶液B：華の精50倍



出荷適期の切り枝



露地で開花中のスノーボール

【2 効果】

- (1) 遊休農地等を利用した、花木品目として切り枝生産が可能になる。
- (2) 秋の早い気象条件を活かし、短期間の加温による切り枝促成が可能になる。
- (3) 切り枝花木類を導入し、施設花き品目と組み合わせた季節感豊かな花き産地を形成する。